

2003年3月期 中間決算説明会

2002年11月8日(金) 10:00～



- 注:業績予想に関する注意事項 -

このデータブックの数値のうち、過去の事実以外のアイフル株式会社及びそのグループ会社の計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点においてアイフル株式会社及びそのグループ会社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、現実の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性があります。ここでの潜在的なリスクや不確定要因として考えられるものとしては、例えば、アイフル株式会社及びそのグループ会社を取り巻く経済情勢や消費者金融を取り巻く市場規模の変化、債務不履行に陥る顧客の割合、アイフル株式会社及びそのグループ会社が支払う借入金利率のレベル、法定貸付上限金利のレベル等が考えられますが、これらに限りません。なお、この資料はいかなる証券の投資勧誘を目的として作成したものではありません。

<http://www.ir-aiful.com>

ir@aiful.co.jp

2003年3月期 中間決算説明会

1. 決算概要及びアイフルの経営戦略について

アイフル株式会社 代表取締役社長 福田 吉孝

2. ライフ経営の進展について

株式会社ライフ 総合企画部 部長 長末 克彦

3. 計数報告

アイフル株式会社 社長室 IR課 課長 山内 郁雄

2002/9月期実績(グループ連結)

(10億円)	01/9	02/9	増減率 Yoy	業界 順位	03/3 (E)	増減率 yoy
営業債権残高(参考*)	1,901	2,119	+11.5%	1位	2,281	+13.9%
営業貸付金(参考*)	1,522	1,740	+14.3%	2位	1,863	+13.9%
アイフル単体	1,245	1,372	+10.2%	3位	1,421	+8.2%
割賦債権(信販・カード')(参考*)	154	183	+19.3%	1位	210	+27.5%
キャッシング口座数 (千件)	3,222	3,453	+7.2%	1位	-	-
クレジットカード会員数 (千件)	8,047	9,420	+17.1%	1位	9,846	+11.4%
新規ローン顧客獲得 (千件)	327	310	5.3%	1位	622	2.4%
ローン事業店舗数 (店)	1,843	1,920	-	1位	1,992	-
営業収益	191	220	+14.9%	1位	451	+13.7%
営業利益	56	62	+9.5%	3位	130	+17.5%
経常利益	50	59	+16.8%	3位	125	+19.2%
当期純利益	24	30	+23.6%	3位	66	+90.5%

* 流動化によりB/Sから除かれている債権を含めた実体営業債権ベースの参考値

2002年9月期実績(アイフル単体)

(10億円)	01/9	02/9	増減率 yoy	03/3 (E)	増減率 yoy
営業貸付金残高	1,245	1,372	+10.2%	1,421	+8.2%
無担保ローン	976	1,055	+8.1%	1,082	+6.2%
不動産担保	253	298	+17.6%	317	+14.5%
事業者ローン	14	19	+28.1%	21	+26.1%
口座数	2,206	2,271	+2.9%	2,281	+1.7%
無担保ローン	2,125	2,175	+2.3%	2,177	+1.0%
不動産担保	68	80	+17.6%	87	+16.2%
事業者ローン	12	15	+26.7%	17	+24.3%
無担保ローン新規獲得	245	205	16.5 %	409	11.4 %
ローン営業店舗数	1,581	1,588	-	1,593	-
営業収益	151	162	+7.4%	327	+6.4%
営業利益	55	58	+5.8%	119	+8.0%
経常利益	51	58	+13.4%	119	+10.7%
当期純利益	27	30	+11.5%	62	+62.9%

2002年9月期実績(グループ会社:その1)

(百万円)	ライフ		ハッピークレジット		信和		山陽信販	
業種	クレジットカード・信販		消費者金融		消費者金融		消費者金融	
決算期	02/9	03/3E	02/9	03/3E	02/9	03/3E	02/9	03/3E
営業債権残高	660,753	717,993	33,355	34,053	23,210	23,724	11,809	12,410
成長率(YOY)	+11.6%	+17.2%	+12.7%	+5.0%	+21.8%	+12.1%	+3.7%	+9.0%
顧客口座数(千)	9,419	9,846	108	109	63	65	27	27
成長率(YOY)	+18.8%	+13.0%	+12.9%	+3.8%	+21.3%	+14.0%	+7.7%	+3.8%
新規獲得口座数	1,187	1,926	16	31	12	22	3	7
成長率(YOY)	+71.0%	+7.4%	12.6%	16.2%	+35.8%	+15.8%	+21.9%	+40.0%
店舗数	223	247	57	57	35	35	18	20
営業収益	49,455	101,550	4,319	8,724	2,976	6,055	1,391	2,893
成長率(YOY)	+31.1%	+37.2%	+11.2%	+9.2%	+18.0%	+15.4%	+25.3%	+22.5%
営業利益	2,804	7,818	410	213	151	400	133	518
成長率(YOY)	+93.0%	+304.4%	-	61.1%	-	55.9%	+545.0%	702.3%
経常利益	2,929	8,012	414	235	149	412	134	517
成長率(YOY)	+86.1%	+233.3%	-	57.1%	-	54.9%	+388.8%	+754.4%

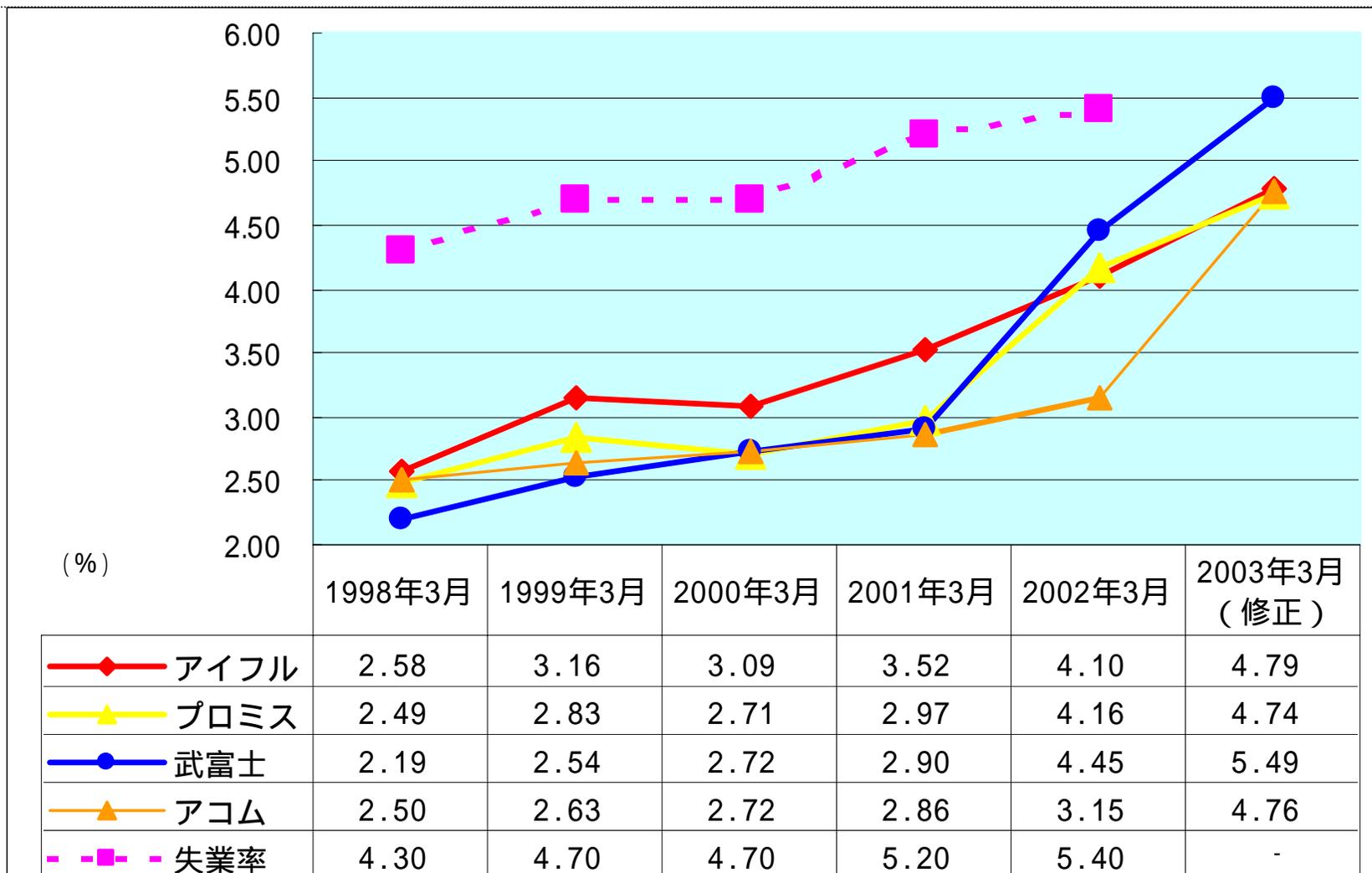
- ・ライフの顧客口座数は、クレジットカードの有効会員数。新規獲得口座数は、同新規発行枚数。
- ・ライフの営業収益は、流動化債権分を除く、会計ベースの数値。

2002年9月期実績(グループ会社:その2)

(百万円単位)	ビジネクス		シティズ		アストライ		マルトー	
業種	事業者ローン		事業者ローン		サービス		不動産物件管理	
決算期	02/9	03/3E	02/9	03/3E	02/9	03/3E	02/9	03/3E
営業債権残高	11,657	18,092	-	-	-	-	-	-
成長率(YOY)	+374.6%	+122.9%	-	-	-	-	-	-
顧客口座数	9	14	-	-	-	-	-	-
成長率(YOY)	+313.4%	+180.0%	-	-	-	-	-	-
新規獲得口座数	4	10	-	-	-	-	-	-
成長率(YOY)	+90.9%	+150.0%	-	-	-	-	-	-
店舗数	3	3	-	-	-	-	-	-
営業収益	743	1,851	-	3,268	8	67	383	740
成長率(YOY)	+721.7%	+405.7%	-	-	-	-	-	+1,544%
営業利益	231	700	-	439	76	176	82	37
成長率(YOY)	-	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	226	695	-	428	76	176	196	262
成長率(YOY)	-	-	-	-	-	-	-	-

貸倒の動向(1) 貸倒償却率の推移

- 1) 共通要因: 「4つの要因」
- 2) 個別要因: 「債権管理・償却・引当基準の是正？」 = 急増した会社の「個別事情」



貸倒の動向(2) 一貫した債権管理手法

アイフルの債権管理フロー：

「過去から一貫して徹底した期日管理 = システムでの自動管理 現場の恣意・裁量が入る余地は無い。」

延滞日数	1 ~ 32	33 ~	90 ~ 152	153 ~ 334	破産 or 延滞 335 ~
当社カテゴリ-	管理債権	解約債権(デフォルト=1ヶ月超延滞)		移管債権	償却債権
所管部門	各店舗			管理センター(回収センター)	
金融庁(FSA)の「不良債権4分類」	正常債権	「3ヶ月以上延滞債権」 (「条件緩和」は、解約債権から切り分けて、別途表示)		「延滞債権」	「破綻先債権」
P/L上の扱い	未収収益計上			未収収益不計上	
B/S上の扱い	残高計上				残高不計上

償却タイミング	1日延滞 ~	5ヶ月延滞 ~	11ヶ月延滞 ~
破産・調停・介入	償却	→	
行方不明等		償却	→
不履行(開き直り)			償却 →

貸倒の動向(3) 延滞債権ストックの動向

「景気要因と言えるレベルの変化」

- ・100bpを超えるような急カーブでの上昇ではない。
- ・引当率も、遅行しながらも見合いで徐々に増加している。

延滞債権ストック	01/9	02/3	02/9	03/3E
1ヶ月超延滞債権	4.71%	4.96%	5.44%	-
「延滞4分類」合計	4.27%	4.66%	5.20%	-
条件緩和債権	2.65%	2.87%	3.08%	-
3ヶ月延滞	0.68%	0.64%	0.74%	-
延滞債権	0.91%	1.00%	1.18%	-
破綻先債権	0.04%	0.14%	0.20%	-
貸倒引当金合計	5.25%	5.78%	6.06%	6.25%
うち流動資産	3.93%	4.47%	4.75%	4.89%

「破産・介入の占有率が高い」

- ・即時移管&償却処理の対象債権。
- ・逆に償却タイミングが遅い「不履行」の占有率は低下傾向に。

償却要因別	01/9	02/3	02/9	03/3E
破産	45.7%	48.8%	50.4%	-
介入等	14.1%	16.6%	17.3%	-
行方不明等	26.9%	23.2%	23.2%	-
不履行	13.2%	11.5%	9.0%	-

「顧客属性も、トップ4では差が無い」

- ・債権質に違いがあるとは思えない。

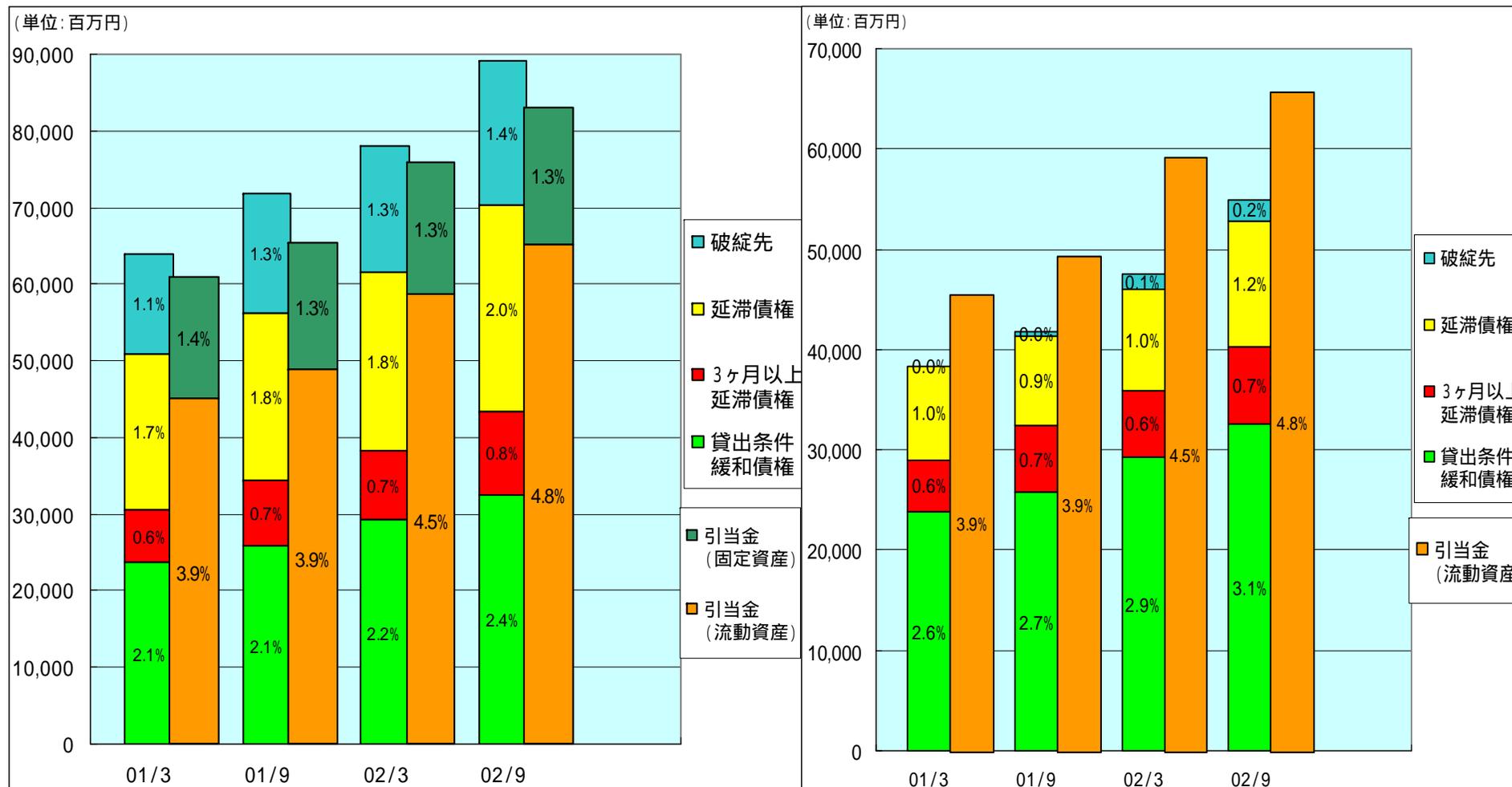
既存平均他社件数	2.70件	2.70件	2.70件	-
新規平均他社件数	1.29件	1.29件	1.33件	-
新規他社ゼロ件比率	37.7%	37.0%	36.1%	-

貸倒の動向(4) 引当水準(延滞債権四分類との比較)

- 1) 引当方法: 「一貫して同じ基準で積んでおり、変わっていない」
 2) 引当水準: 「対営業債権額合計、対延滞債権額のいずれにおいても、自然体で十分な引当率」

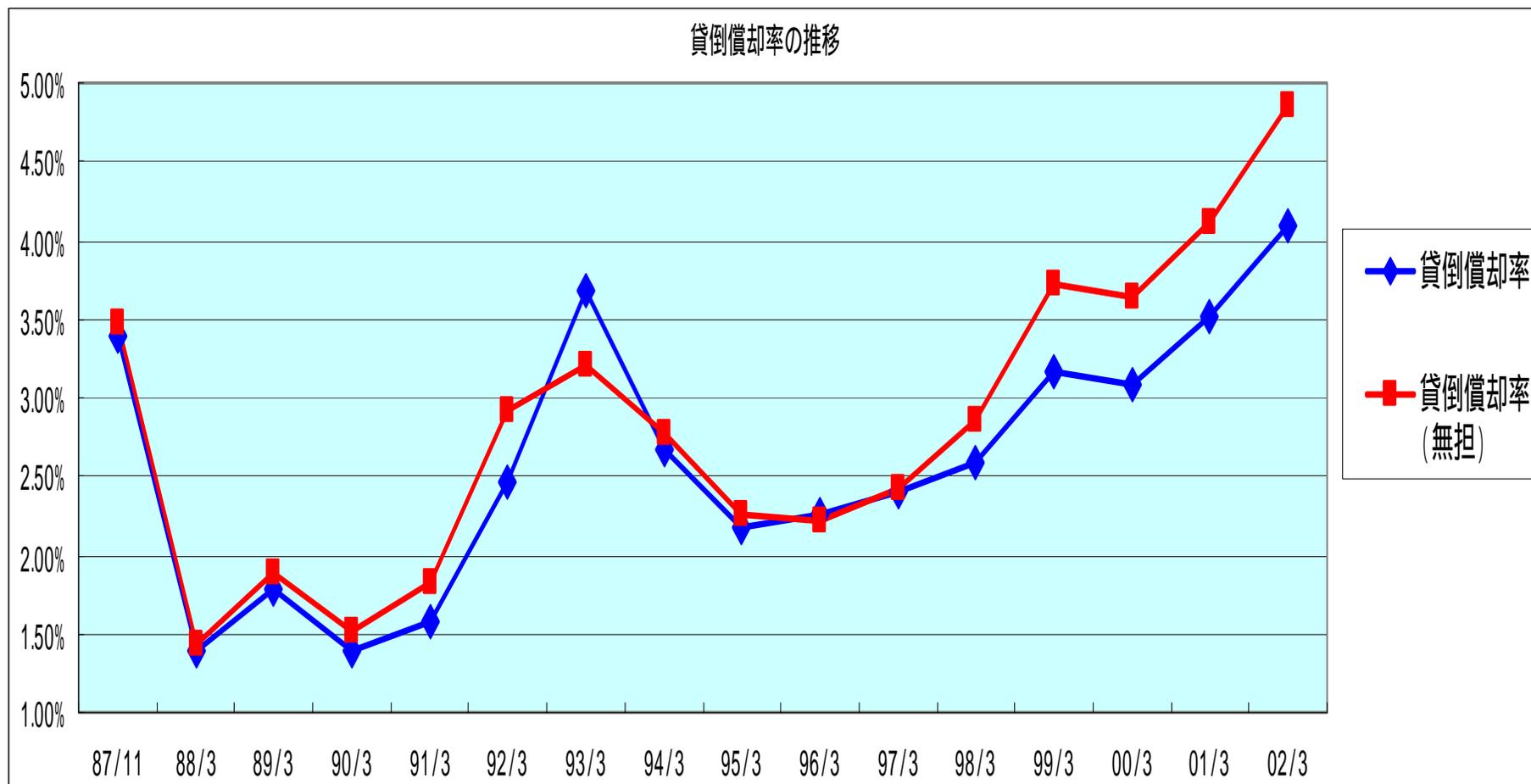
(オール)

(無担保)



貸倒の動向(5) 「貸倒は何処まで、そしていつまで上がるのか？」

- 1) 共通要因: 「4つの要因」
- 2) 個別要因: 「債権管理・償却・引当基準の是正？」 = 急増した会社の「個別事情」

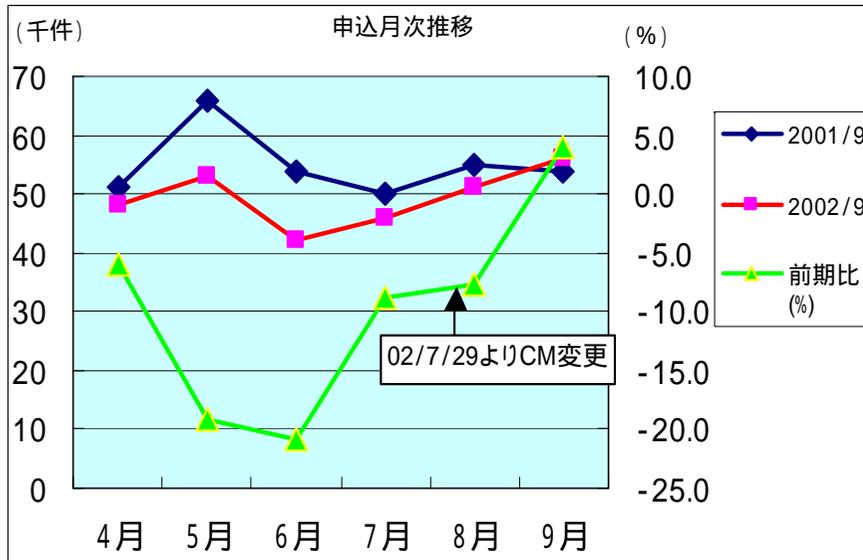


新規獲得の動向

99 / 3月期以来のマイナス成長

「マインド面の影響が大きい。」

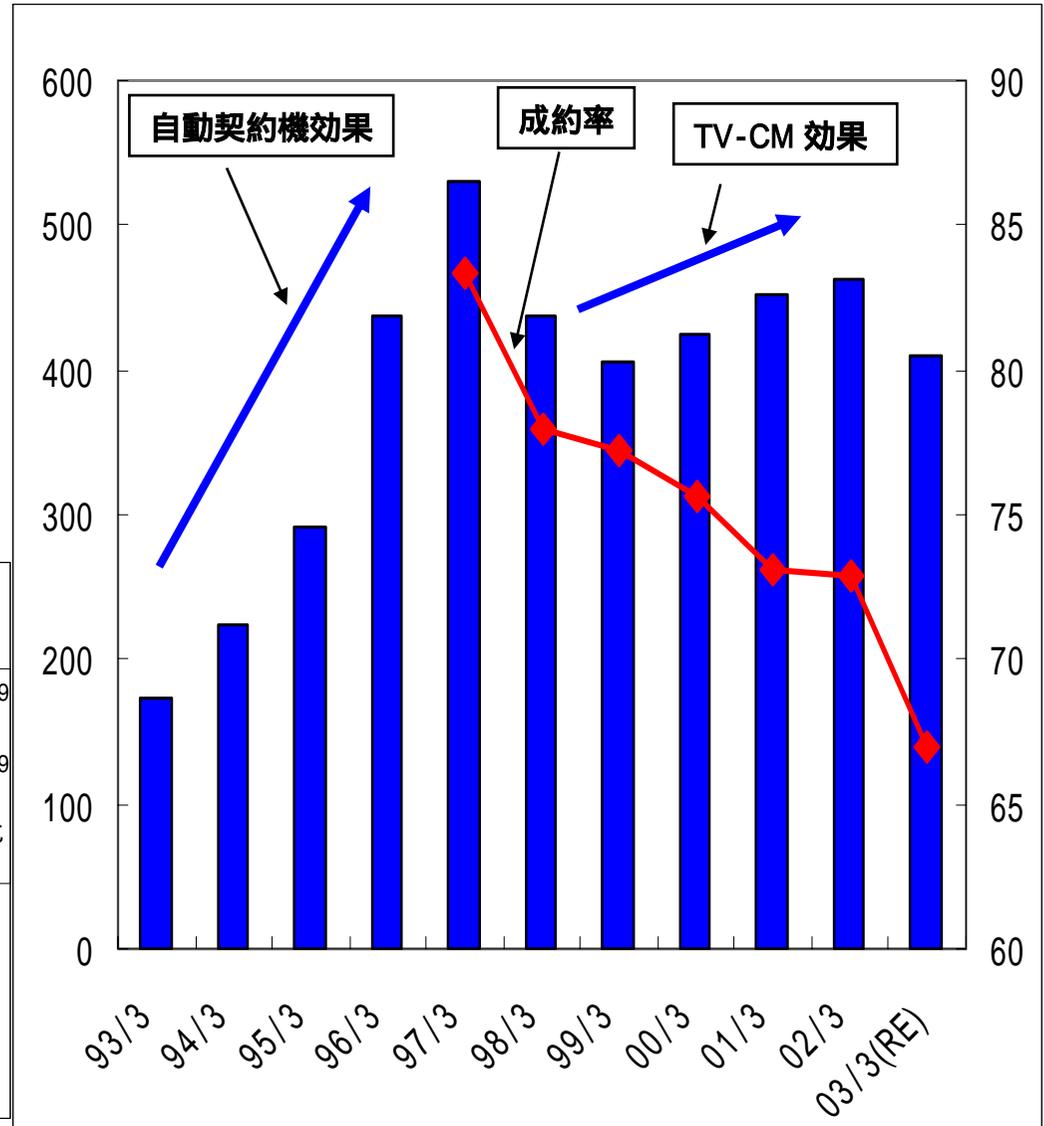
- ・不景気による「借り控え」
- ・慎重与信による「成約率の低下」
- ・TV CM効果の「一巡」
- ・4月～6月の当社CMの失敗



(千件)

【アイフル新規顧客獲得件数の推移】

(%)



資金調達の動向

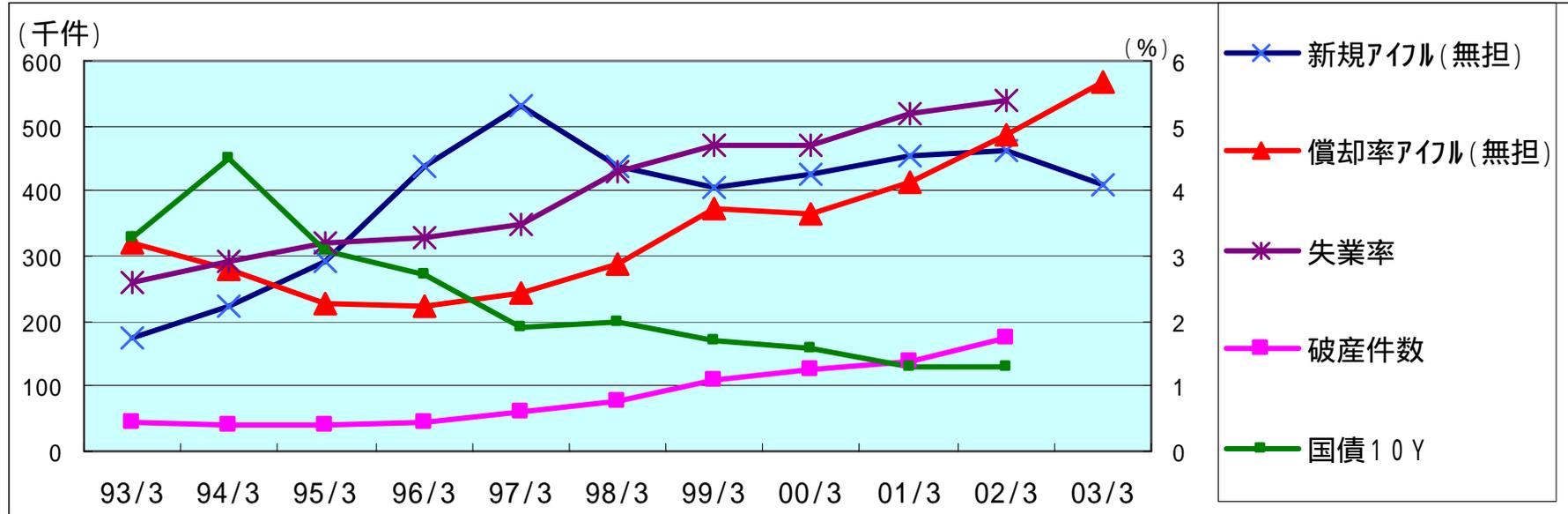
[連結]

(百万円)	01/3	(%)	02/3	(%)	02/9	(%)
借入金	811,765	53.7	823,148	51.8	885,820	<u>52.1</u>
CP・SB等	700,500	46.3	766,124	48.2	813,748	<u>47.9</u>
流動化	308,000	20.4	328,624	20.7	343,248	20.2
調達合計	1,512,265	100.0	1,589,272	100.0	1,699,568	100.0
調達金利	2.75		2.04		<u>1.89</u>	
直接	2.91		1.54		<u>1.56</u>	
間接	2.62		2.52		<u>2.20</u>	

[単体]

(百万円)	01/3	(%)	02/3	(%)	02/9	(%)
借入金	791,674	64.9	741,855	58.7	756,678	<u>57.1</u>
CP・SB等	427,500	35.1	521,124	41.3	568,748	<u>42.9</u>
CP	15,000	1.2	15,000	1.2	15,000	1.1
SB	377,500	31.0	422,500	33.5	455,500	34.4
流動化	35,000	2.9	83,624	6.6	98,248	7.4
調達合計	1,219,174	100.0	1,262,979	100.0	1,325,426	100.0
調達金利	2.45		2.30		<u>2.13</u>	
直接	2.14		1.96		<u>1.98</u>	
間接	2.62		2.53		<u>2.24</u>	

マクロ経済環境と業績

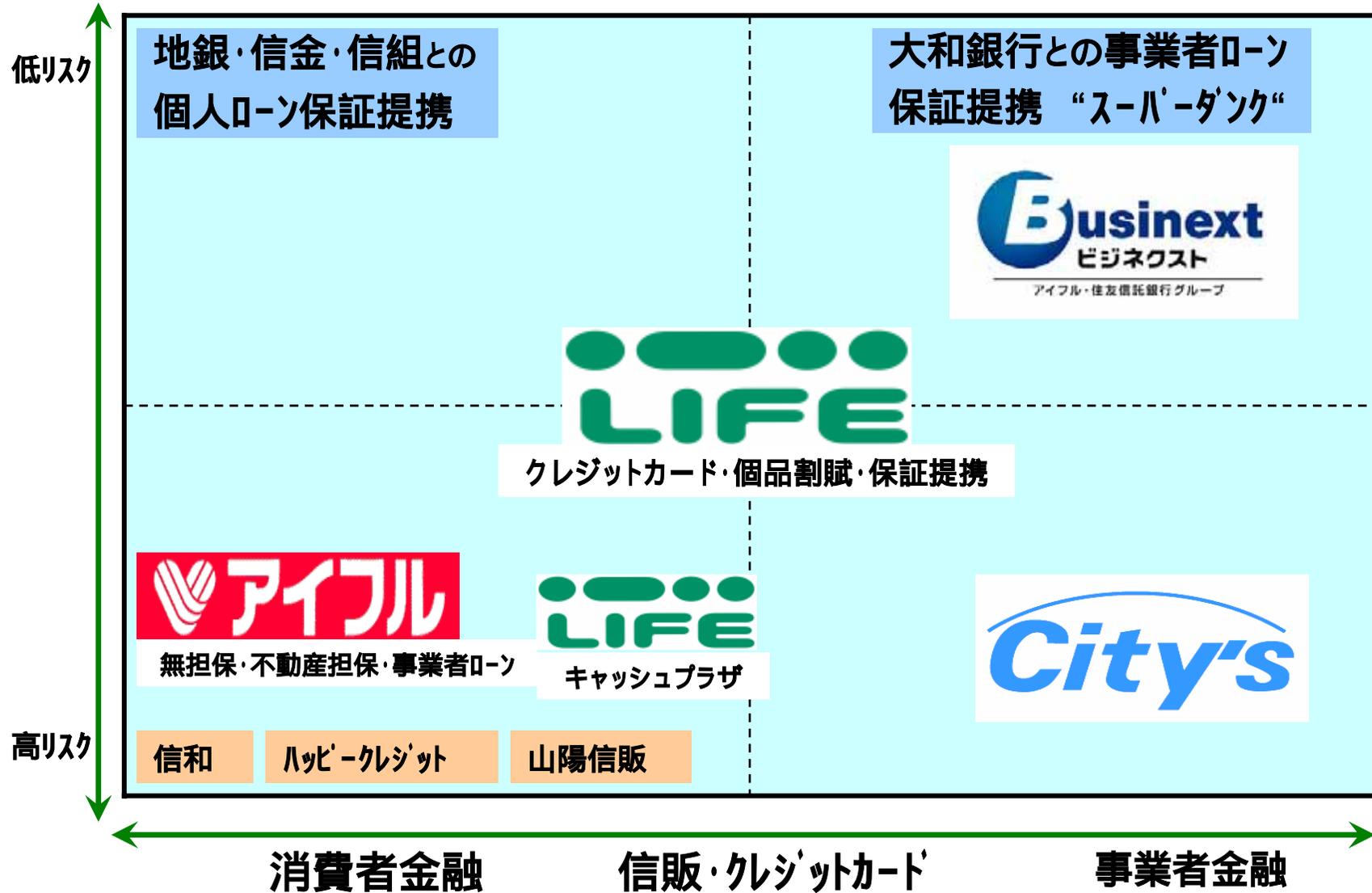


橋本政権 小渕政権 森政権 小泉政権

歴代内閣
TOPIX (93-02)



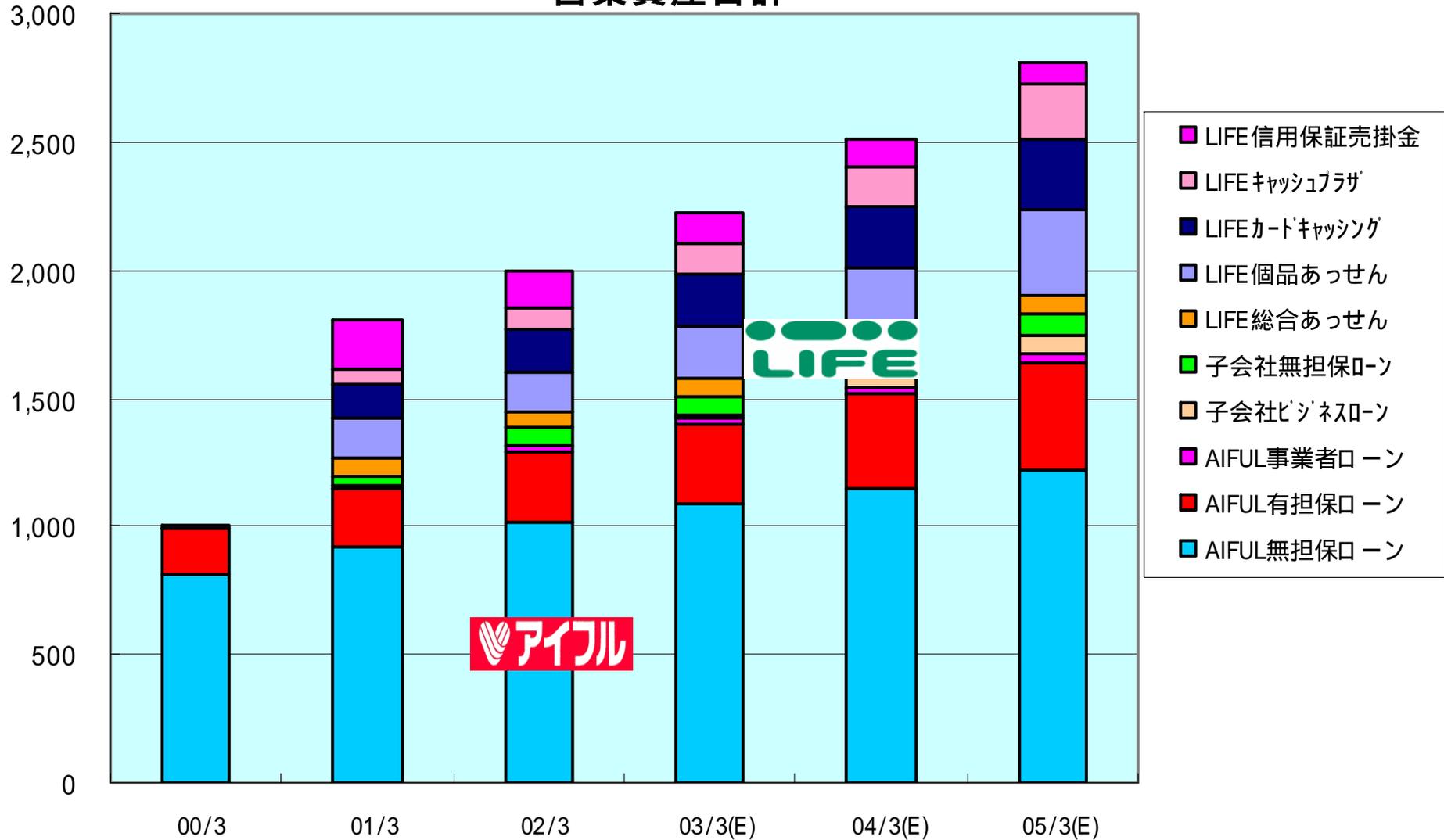
リテール分野での「総合金融企業化」の現状



「総合金融化」による営業債権ポートフォリオの変化

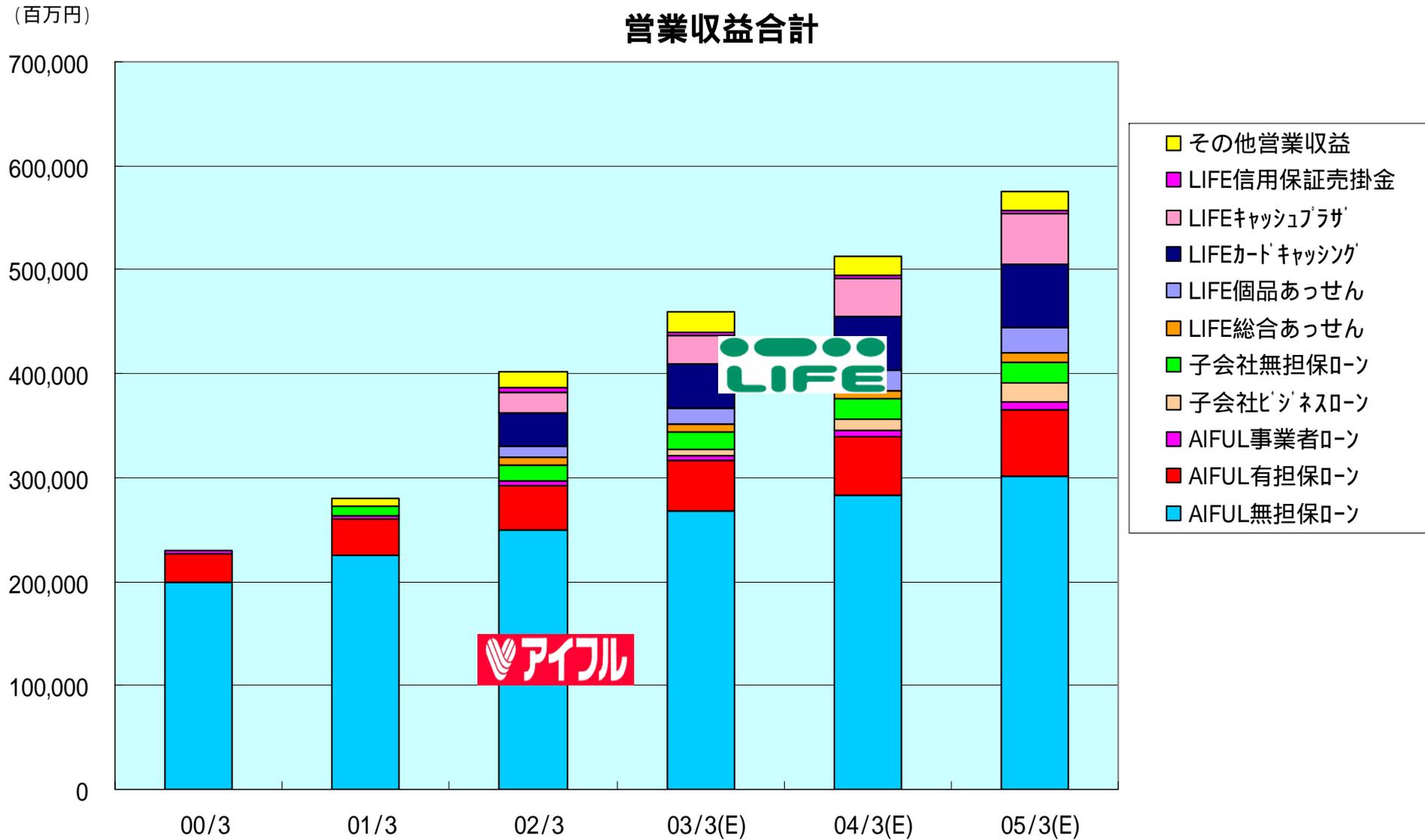
(十億円)

営業資産合計



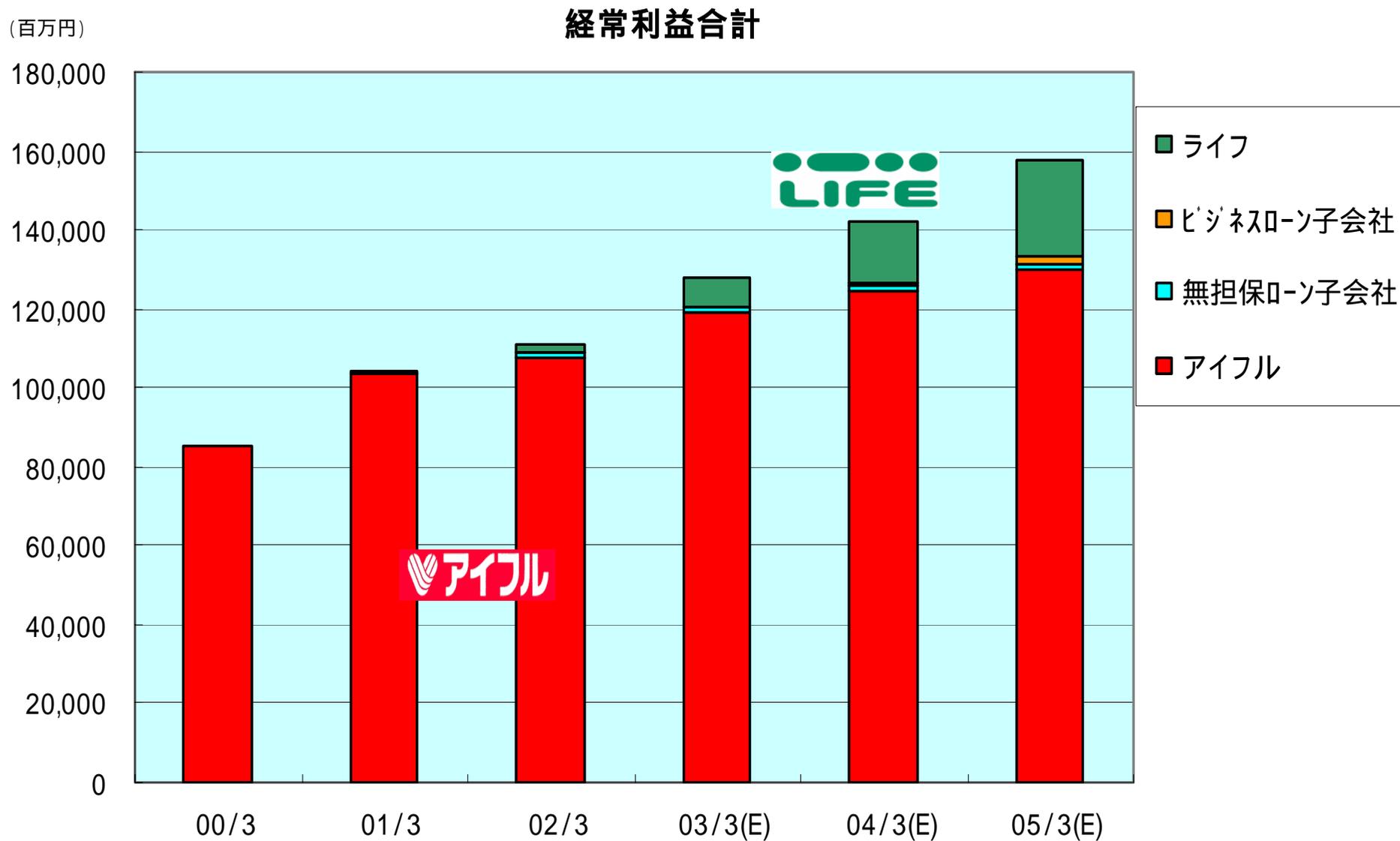
・債権流動化によりB/Sから落ちている営業債権分をも含む「営業債権ベース」

「総合金融化」による営業収益構成の変化



・債権流動化によりB/Sから落ちている営業債権分をも含む「営業債権ベース」

「総合金融化」による経常利益構成の変化



・債権流動化によりB/Sから落ちている営業債権分をも含む「営業債権ベース」

「総合金融化」による着実な利益成長

年度(単位:10億円)	01/3	02/3	02/9	03/3(E)
連結営業債権残高	1,821	2,002	2,119	2,281
成長率	+82.0%	+9.9%	+11.5%	+13.9%
単体営業貸付金残高	1,159	1,313	1,372	1,421
成長率	+15.8%	+13.3%	+10.2%	+8.2%
連結経常利益	103	105	59	125
成長率	+21.8%	+1.5%	+16.8%	+19.2%
単体経常利益	103	107	58	119
成長率	+21.6%	+4.0%	+13.4%	+10.7%
連結EPS(¥)	569.32	390.00	331.49	712.09
成長率	27.2%	31.5%	+14.9%	+82.6%
連結ROA(%)	2.6	1.8	2.9	3.1
連結ROE(%)	15.7	9.6	14.1	14.7
連結総資産	1,865	2,029	2,175	2,268
連結株主資本比率(%)	16.4	20.7	20.7	21.6

・営業債権項目については、債権流動化によりB/Sから落ちている営業債権分をも含む「営業債権ベース」

・01/3期は、株式分割(1:1.5)、ライフ、ハッピー、信和買収を実施。02/3期は、公募増資(850万株)、不動産減損(特損)処理を実施。

ライフ - 「営業基盤の状況」

クレジットカード事業	01/9	02/9	増減(率)	03/3E	増減(率)	
有効カード会員数	7,927	9,419	+1,492	9,846	+1,130	(千件)
うちプロパ-	973	1,424	+451	1,504	+117	
うち提携	6,955	7,995	+1,040	8,341	+1,013	
新規カード発行数	694	1,187	+493	1,926	+132	(千件)
うちプロパ-	81	92	+11	229	+52	
うち提携	613	1,094	+481	1,697	+80	
クレジットカード取扱高	194,624	248,222	+27.5%	513,973	+20.8%	(百万円)
うちショッピング	109,925	133,774	+21.7%	280,211	+19.9%	
うちキャッシング	84,699	114,447	+35.1%	233,761	+21.9%	
個品取扱高	44,420	69,188	+55.8%	150,607	+44.1%	

	提携先TOP3	上期発行	比率	備考	
1位	アクア	482	43.9%	コメリホームセンター	(千件)
2位	洋服の青山	291	26.6%	衣料小売	
3位	デオデオ	142	13.0%	家電小売	

ライフ - 「営業債権の状況」(営業債権ベース)

	01/9	02/9	増減率	03/3E	増減率
営業債権合計	592,097	660,753	+ 11.6%	717,993	+ 17.2%
割賦売掛金	216,523	247,825	+ 14.5%	276,154	+ 23.2%
総合斡旋	65,409	65,225	0.3%	67,066	+9.0%
個品斡旋	151,092	182,595	+ 20.9%	209,086	+ 28.5%
オート	23,689	10,202	56.9%	8,237	47.0%
特定・一般	109,214	158,301	+ 44.9%	188,099	+ 43.6%
代位弁済	18,190	14,090	22.5%	12,749	20.8%
その他	22	3	86.4%	1	93.2%
営業貸付金	217,127	288,185	+ 32.7%	324,415	+ 29.3%
カードキャッシング	139,438	180,675	+ 29.6%	196,781	+ 22.9%
キャッシュプラザ	76,559	106,536	+ 39.2%	126,731	+ 41.5%
その他	1,131	973	14.0%	901	25.2%
信用保証売掛金	158,447	124,742	21.3%	117,423	14.5%
パートナー	37,785	13,197	65.1%	7,912	65.0%
銀行保証	72,676	68,100	6.3%	68,010	1.8%
住宅	47,986	43,443	9.5%	41,500	8.7%

(百万円)



・債権流動化によりB/Sから落ちている営業債権分を含む「営業債権ベース」

ライフ - 「損益の状況」(営業債権ベース)

	01/9	02/9	増減率	03/3E	増減率
営業収益	37,732	49,455	+31.1%	103,310	+29.4%
総合斡旋	3,553	3,854	+8.5%	7,856	+9.5%
個品斡旋	5,193	7,280	+40.2%	15,158	+31.1%
カードキャッシング	15,151	20,260	+33.7%	42,233	+31.9%
キャッシュプラザ	8,882	12,729	+43.3%	27,541	+42.3%
信用保証	2,140	1,771	17.2%	3,552	11.0%
償却債権回収額	760	1,123	+47.8%	2,335	+38.7%
その他	2,054	2,432	+18.4%	4,632	+14.6%
営業費用	36,279	46,650	+28.6%	95,492	+22.6%
金融費用	6,468	3,781	41.5%	7,942	14.0%
貸倒費用	5,354	15,866	+196.3%	32,227	+85.2%
広告宣伝費	2,224	2,731	+22.8%	4,728	+3.2%
人件費	7,136	7,638	+7.0%	16,070	+7.4%
その他	15,096	16,632	+10.2%	34,523	+8.9%
営業利益	1,453	2,804	+93.0%	7,818	+304.4%
経常利益	1,574	2,929	+86.1%	8,012	+233.3%

(百万円)



・債権流動化によりB/Sから落ちている営業債権分を含む「営業債権ベース」

ライフ - 「信販・カード業界で覇を争える会社に。」

(百万円)

	LIFE			オリコ	ジャックス	イオンクレジット
	02/9	03/3E	04/3E	02/3	02/3	02/2
カード会員(万人)	941	984	1,096	1,018	651	980
売掛金残高	660,753	717,993	813,196	4,241,519	2,628,617	357,519
ショッピング債権	247,825	276,154	315,789	815,045	612,233	n.a. *2
消費者ローン	288,185	324,415	394,216	266,300	n.a. *2	252,033
保証	124,742	117,423	103,191	2,126,554	1,587,481	n.a. *2
営業収益	49,455	103,310	125,297	330,151	133,139	85,993
営業収益率 *1	14%	14%	15%	8%	5%	n.a. *2
経常利益	2,929	8,012	17,211	26,526	6,341	23,847

*1: 営業収益 ÷ 売掛金残高 で算出した収益率。

*2: 一般開示資料ベースでの記載が無いため、不明。

*3: ライフについては、債権流動化によりB/Sから落ちている債権を含む「営業債権ベース」。

ライフ - 「グループでのシナジーの追求」

「スコアリング・与信ノウハウの移植」

顧客の信用力に応じたきめ細かい与信による事業拡大

「債権回収ノウハウの移植」

回収効率の向上による債権回収力の強化

「ライフのクレジットカードシステムの活用」

アイフルMasterCardの発行によるアイフル優良顧客の囲い込み

(今後の施策)

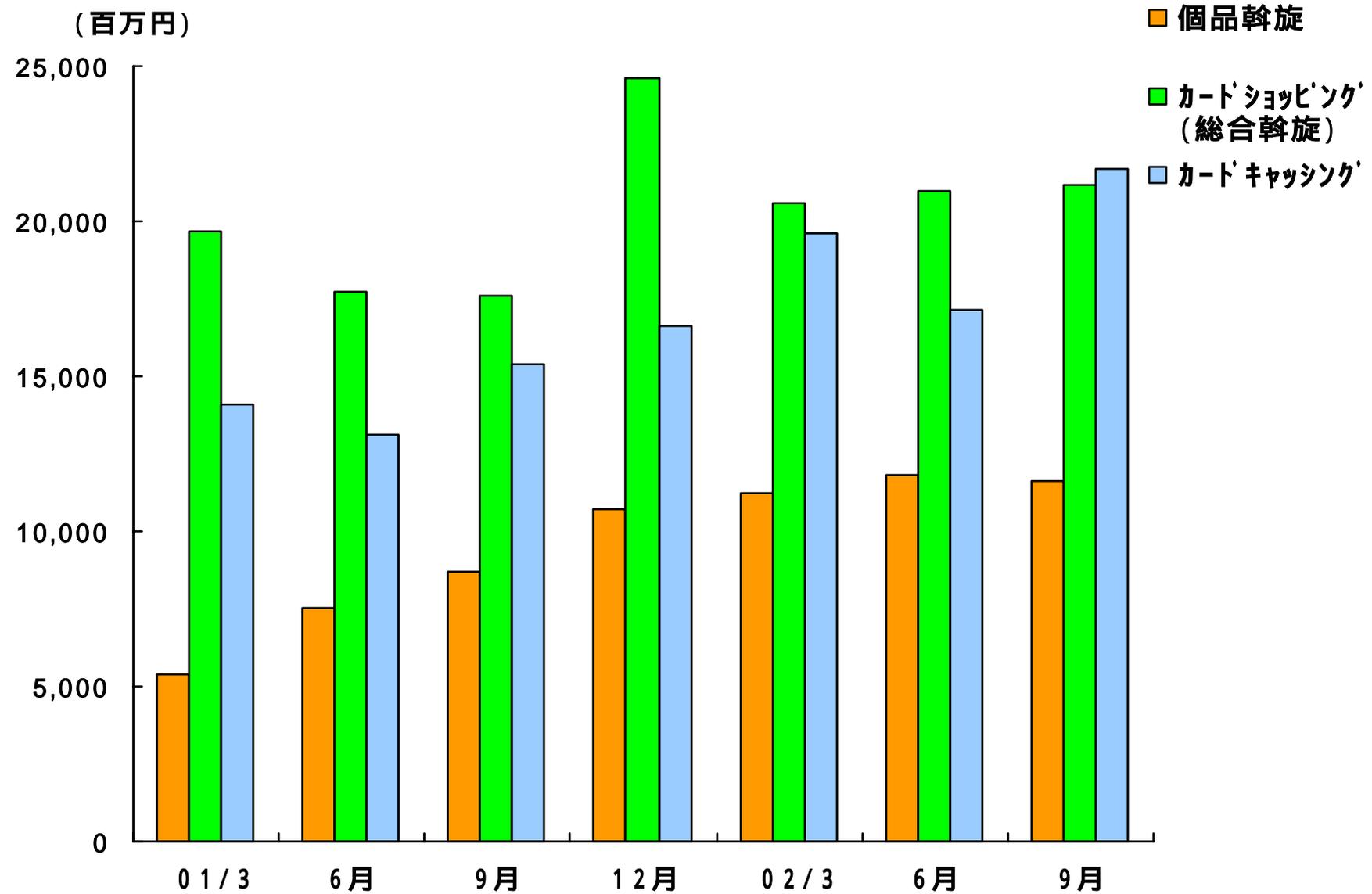
「システム共同開発」

システム開発の効率化と投資コストの抑制

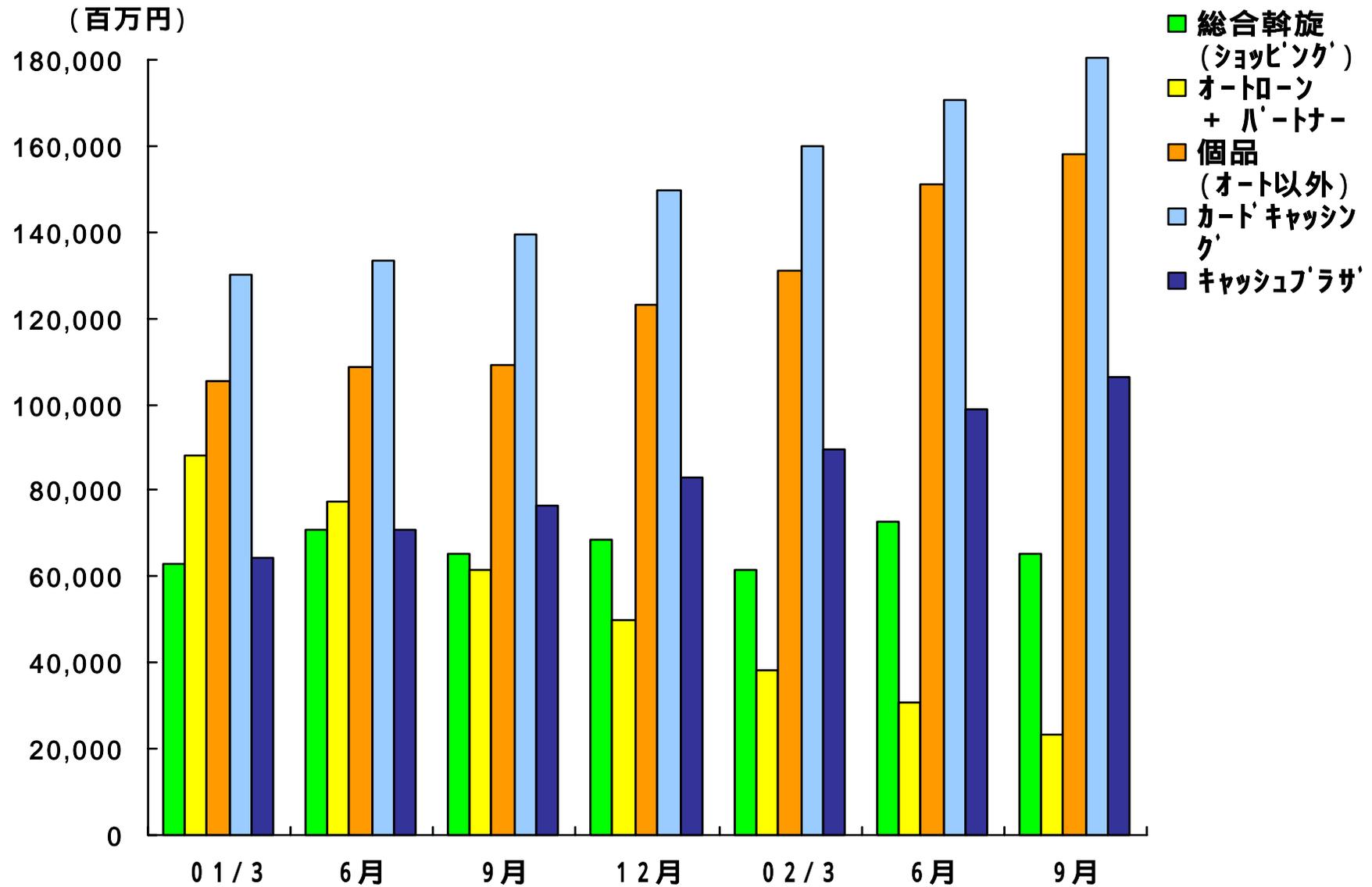
「バックオフィスの共用化」

賃借料削減による経費の抑制

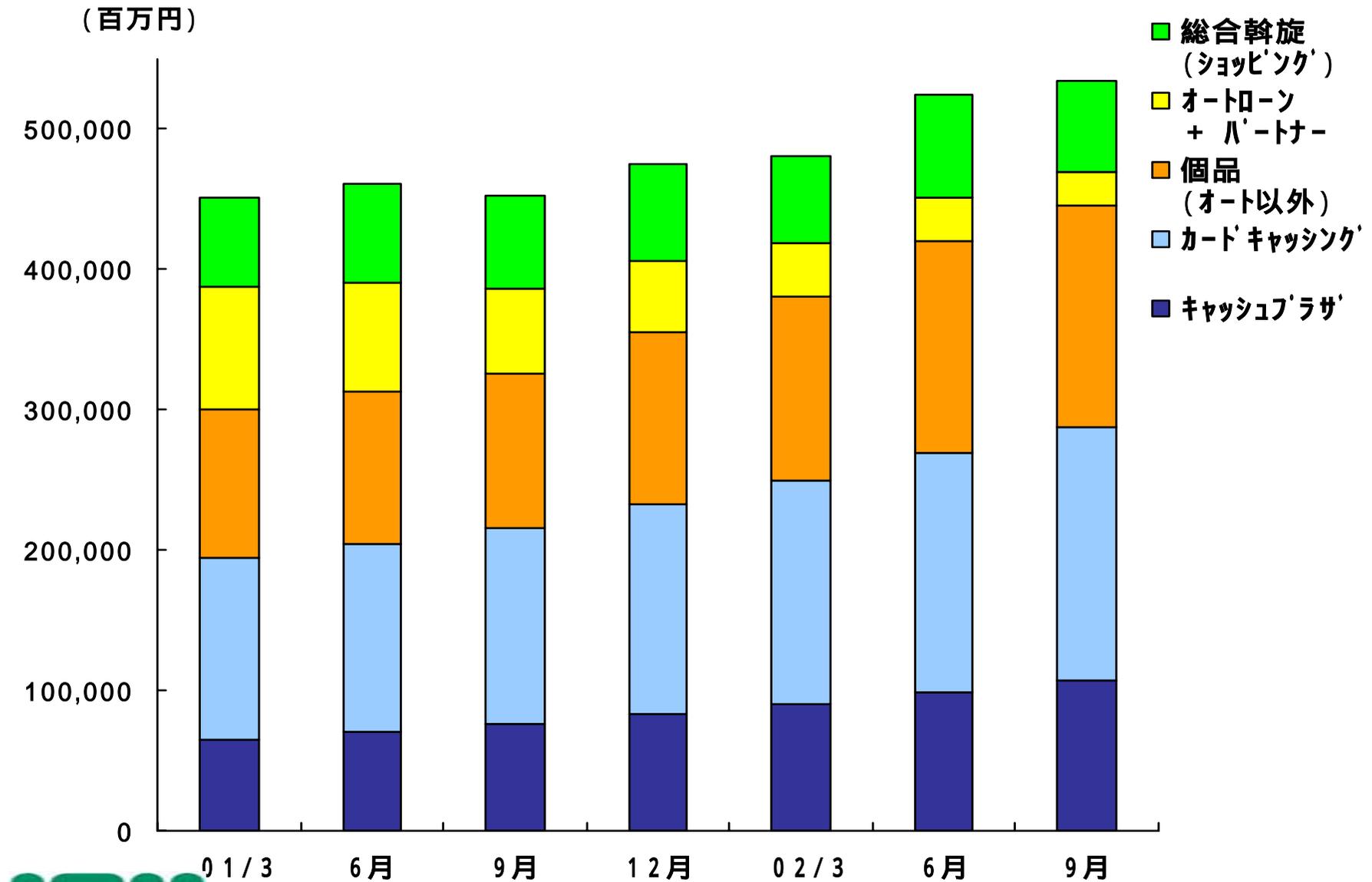
ライフ関連グラフ (1) 月次買上実績の推移



ライフ関連グラフ (2) 月末売掛金残高の推移



ライフ関連グラフ (3) 売掛金残高構成の変化



計数報告(1) 営業収益(連結)

(百万円)	02/9	増減率 YoY	03/3	増減率 YoY	内容・変動要因等
営業収益合計	220,224	+14.9%	451,602	+13.7%	
営業貸付金利息	199,615	+15.4%	408,921	+13.8%	
無担保ローン	171,974	+14.1%	350,186	+12.3%	ライフの営業貸付金の積み上げ
うちアイフル	130,999	+6.9%	264,230	+6.1%	
不動産担保ローン	24,598	+21.3%	48,941	+13.4%	
事業者ローン	3,042	+57.7%	9,792	+130.0%	シティズ買収
クレジットカードショッピング	3,828	+21.7%	7,724	+14.6%	取扱高(買上金額)が22%増加
信販事業(個品)	6,917	+72.7%	15,087	+45.7%	取扱高(同上)が56%増加
信用保証	1,935	10.4%	4,025	1.3%	低収益の保証事業からは撤退
その他金融収益	142	52.9%	357	32.0%	アイフルの社内貸付からの利息
その他営業収益	7,784	14.1%	15,483	4.1%	
不動産売上高	306	87.8%	473	83.2%	アイフルの不動産事業撤退
サービス事業売上高	527	18.6%	1,115	10.5%	
償却債権回収額	3,326	+21.7%	6,687	+17.0%	償却債権の増加見合い
その他	3,623	+14.3%	7,207	+13.3%	不動産担保ローン手数料+カード会費

計数報告(2) 営業費用(連結)

(百万円)	02/9	増減率 YoY	03/3	増減率 YoY	変動要因
営業費用合計	158,141	+17.3%	320,833	+12.2%	
金融費用	18,777	+10.6%	39,540	+14.2%	ライフの間接調達(外部)増加
売上原価	444	82.3%	650	78.5%	
その他営業費用	138,919	+20.4%	280,640	+13.1%	
貸倒費用	59,313	+64.0%	116,658	+29.7%	前上期はライフ貸倒引当金を取崩し
広告宣伝費	11,962	14.4%	22,836	14.9%	アイフルは削減、ライフは増加
人件費	22,968	+4.3%	48,564	+11.2%	センター化初期の一時的積増し
連結調整勘定償却	1,293	30.6%	2,606	18.0%	ライフのルン代 = 320億円 220億円
その他	43,381	+4.9%	89,975	+8.1%	
支払手数料	9,500	8.3%	-	-	
賃借料	12,017	+8.7%	-	-	ライフ出店増
減価償却費	3,359	+3.4%	-	-	
その他	21,253	+10.3%	-	-	通信費、消耗品、消費税他

計数報告(3) 営業外損益、及び特別損益(連結)

(百万円)	02/9	YoY	03/3	YoY	変動要因
営業外収益	544	+27.2%	535	+27.1%	受取配当金等の増加
営業外費用	3,304	47.9%	6,049	+27.1%	
貸倒引当金繰入額	2,428	+82.3%	-	-	不動産担保価値下落分 + 民事再生
新株発行費	-	-	-	-	前上期、公募増資費用42億計上
その他	876	+12.2%	-	-	敷金解約損等
			-	-	
特別利益	407	34.2%	506	70.7%	
貸倒引当金戻入額	68	70.4%	-	-	
投資有価証券売却益	193	+257%	-	-	
敷金保証金精算益	117	-	-	-	
特別損失	955	+73.1%	2,571	94.3%	
固定資産売却損	374	-	-	-	ライフ宮島研修センター売却
固定資産除却損	141	55.0%	-	-	自動契約機、什器備品等除却
連結調整勘定償却	396	-	-	-	ライフ繰延税金資産増加分